

2月の園だより

令和6年1月30日
杉並区立西荻北子供園
園長 石床 美穂子

「幼児の安全意識を高める」

副園長 小森 三奈子

西荻北子供園では、学校安全計画に基づき、毎月、幼児の実態に応じて安全指導を行っています。今月は、交通安全について幼児が何をどのように気を付ければよいかを学ぶために、1月23日に荻窪警察署の方に来ていただきました。

ホールに3学年が集まり、交通安全についてのDVDを見ました。そして、内容を振り返りながら、『道路に飛び出さない』『青になってもすぐに飛び出さず、右左右を確認してから歩く』『信号の点滅は赤と一緒。止まる』などの大事なことを警察の方に教えていただきました。また、『止まれ』の標識の意味についても学びました。

その後、就学が近い年長組は園庭に出て、模擬信号を使用した横断歩道の渡り方や、見通しの悪い場所での道路の横断の仕方について教わり、一人で道路を歩く時にどのようにしたらよいか体験しました。

大人と幼児の視野を比べると、6歳児では大人の3分の2ぐらいしかありません。その上、大人との身長の違いから、大人が普通に見えるものが、幼児には全く見えていないことがあります。そのため、目だけで見るのではなく、首をしっかり動かして視野を広げることが大切です。今回、衝立を使って死角をつくり、しっかりとぞき込んで左右を確認する練習もしました。

交通安全指導の翌日、「昨日、横断歩道の渡り方を教えてもらったから、やってみたよ。」「帰る途中で止まれ（の標識）があったよ。ちゃんと止まったよ。」などと早速、学んだことを実践し、教えてくれる幼児もいました。また、自分で選ぶ遊びの中で、興味をもった交通標識をつくって車を動かしたり止めたりする遊びも見られました。

今後も、子供園では毎月の安全指導や園外に出る機会などに、交通安全指導を行っていきます。

幼児が自らの命を守る力を身に付けるためには、日々の生活の中で幼児自身が意識をもって動けるような機会をつくることも大事です。路側帯の内側（無い場合は、道路の端）を歩くこと、道路を渡るときの左右確認、信号の見方など、大人が全てをやっけてしまい、子どもは大人の横に付いてくるだけということはありませんか。登降園時に、親子で歩きながら、どのようなところに気を付けたらよいか、具体的に知らせたり、お子さんが自分で気付いて動いている姿を認めたりしていきましょう。また、幼児はよく大人の真似をします。保護者の行動が、幼児の行動に大きな影響を与えます。保護者自身が常に正しい手本を示しながら、お子さんが安全に道路を歩くことや横断することができるようにしていけるといいですね。

就学、進級まで残り2ヶ月となりました。園と家庭とで連携し、日常的に伝えながら、交通安全の習慣を体験を通して身に付けられるようにしていきましょう。



子どもたちの様子と今月のねらい

3歳児 うさぎ組

1月は、ビニル袋の凧揚げや羽根つき、追いかっこ等、寒さに負けず保育者や周りの幼児と一緒に園庭で元気に遊びました。年中くま組と一緒にいった原っぱ公園への散歩では、公園の端まで思いきり走り、広い場所で伸び伸びと体を動かすことを楽しんでいました。

室内遊びでは、周りの幼児と同じイメージをもってごっこ遊びをすることも楽しくなってきました。今月は、つもりになったり、やりとりを楽しんだりする姿を見守りながら、周りの幼児と一緒に遊ぶ楽しさに共感したり、一人ひとりの思いを認め代弁したりして遊びを支えています。

<今月のねらい>

- 周りの幼児と一緒に動いたり、簡単なやりとりをしたりしながら遊ぶことを楽しむ。
- 周りの幼児や保育者と一緒に、つもりになって動くことや表現遊びをすることを楽しむ。
- 栽培物の生長や冬の自然に興味をもち、見たり触れたりする。

<家庭との連携>

9時までの登園は、皆さん守れていますでしょうか？うさぎ組の子どもたちは、朝の支度も自分でできるようになってきており、それが自信にもなっているところです。朝、落ち着いて支度をしたり、自分のやりたい遊びを朝から気持ちよく始めたりできるよう、8時50分に登園する気持ちで早寝早起きを心掛け、生活リズムを整えていきましょう。

4歳児 くま組

2学期に遊んでいたしっぽとりや縄跳び、新たに取り入れたバナナ鬼やビリビリボール（転がしドッジボール）などをして、思い切り体を動かすことを楽しんでいきます。また、うさぎ組と手を繋いで原っぱ公園まで散歩をしたり、キッズデーで、未就園児の友達に歌を聞かせたりするなど、異年齢の友達と関わる中で、自分たちが大きくなってきていることを実感しています。

片付けやごちそうさまの時間を事前に知らせておくと、時計を見ながら「片付けの時間だ！」「あと少しだから間に合うように食べよう。」などと気付いたり、友達に知らせたりする姿が増えてきています。

<今月のねらい>

- 友達と遊ぶ中で、自分の思いや考えを動きや言葉に表して遊ぶことを楽しむ。
- 友達と声やリズムが揃う心地よさを感じながら、歌ったり楽器を鳴らしたりすることを楽しむ。
- 当番活動の役割が分かり、自分でできることに取り組もうとする。

<家庭との連携>

自分たちの食事のテーブルを拭き始めました。同じテーブルの友達と拭く人を決めて進めています。今は、保育者が絞った布巾を渡していますが、少しずつ自分たちで布巾を絞っていかうと考えています。ご家庭でも、ぜひ布巾を絞ってテーブルを拭く経験をしてみてくださいね。

5歳児 そろ組

自分で選ぶ遊びの中で、楽器遊びを繰り返し楽しんでいきます。友達と一緒に楽器を鳴らす中で、自分たちで曲に合わせてリズムを考えたり、気持ちを合わせて音を鳴らしたりすることを楽しんでいます。音楽会に向けて、「もっときれいに鳴らしたい!」「みんなで気持ちを1つにしたい!」などの声も出てきています。

また、節分に向けて「自分たちが鬼をしよう!」と鬼のお面づくりもしています。つくる中で互いに教え合ったり、声を掛け合ったりしています。「追い出したい心の中の鬼」の表情を考えながら工夫してつくることを楽しんでいます。

<今月のねらい>

○自分の力を十分に発揮したり、友達と協力したりしながら、遊びや活動を進めることを楽しむ。

○修了に向けた活動に取り組む中で、自分の成長を感じたり友達のよさに気付いたりする。

<家庭との連携>

先日、1年生の担任の先生とお話をする機会がありました。「小学校では、1人で通学したり、困ったことを自分で先生に話したりするようになります。心配に思うことがあると思いますが、ぜひお子さんの力を信じてあげてください。」とお話されていました。子供園では、一人ひとりが自信をもって就学に向かえるように指導していきます。ご家庭でも、安心して就学に向かえるよう、持ち物を自分で準備する、学校までの道を歩いてみるなどしていきましょう。

ほしグループ 長時間保育

1月は寒い日が多かったので、おやつの後には体操をしてから遊び始めました。運動会の時に踊った、♪そらそらあおそら や♪ムシキングサンバなどの曲で全学年で一緒に楽しみながら体操をしました。園庭では、3歳児は井村隊長から教わった鉄棒をしました。ぶら下がったりナマケモノになったりして遊んでいます。4歳児は全員保育でしている転がしドッジボールをしています。「当たったら出るんだよ!」「投げないで転がすんだよね。」などルールを伝え合いながら遊んでいます。5歳児は、一人ひとりがめあてをもち縄跳びや竹馬をしたり、友達と一緒に協力したりして遊んでいます。砂場で城づくりを完成させようと話し合い、設計図をつくって、何日もかけてじっくりとつくりました。一緒にする中で友達のよさを感じているようでした。

寒さの厳しい日は、ホールも活用しながら過ごしています。ホールでは、巧技台を登ったりジャンプしたり、トンネルをくぐったりしていろいろな動きを繰り返し楽しみました。また、ケンパシートを並べてケンケンパをすることも楽しみました。